



大久保あきら通信

2022.8 No.27

大久保あきら後援会事務所

〒869-1108 菊池郡菊陽町光の森6丁目19-5(有限会社大輝不動産内) TEL096-233-1237

コロナ禍における ワクチンやマスク着用に関する私の意見

昨年の9月定例議会、今年の3月定例議会の一般質問において、私は新型コロナウイルスワクチンに関する質問をおこないました。その内容については、大久保あきら通信No.24・No.26でも詳細をお伝えさせていただいております。またYouTubeで動画をご覧いただいた方もいらっしゃるかと思います。

新型コロナワクチンの効果は

新型コロナワクチンについては、昨年のワクチン接種が始まったころ、国などが「親孝行のためのワクチン」「思いやりワクチン」といった様々なTVコマーシャルやインターネット広告等で広めた、社会の為、周りの為に接種すべきというスローガンを掲げていました。しかしながら、社会の為、周りの為というスローガンも、残念ながら集団免疫の獲得は困難であるとの結論はもう随分と前にでています。

ワクチン接種開始当初は、「感染しない」「感染させない」というようなことでワクチン接種を推奨していましたが、今では「重症化しないため」というように論調がすり替わっているように感じています。そして私は議会で「重症化を予防できるようなデータはあるのか」と質問しましたが、町としてそのようなデータは持っていないということでした。

私は、新型コロナワクチンを全て否定するわけではありませんが、重症化リスクが極めて低い子どもたちへのワクチン接種は慎重であるべきという立場です。

マスクの効果は

夏の暑い季節にもかかわらず、どこに行ってもマスクの着用を求められますが、果たしてマスクによる新型コロナウイルスの予防効果はどれくらい期待されるのでしょうか。

国民のほとんどがマスクの着用をしている現在も、発表される感染者数は8月に過去最高を更新する結果となっており、マスク着用による感染症の予防効果は極めて低いと考えざるをえませんし、暑い季節にマスクを常時着用することによる熱中症のリスクの方が高いと思います。登下校時の子どもたちがマスクを着用して歩いている姿を見ると、本当にこのままで良いのかと疑問を感じています。



